

神奈川の研究者紹介

氏名	萩原 かおり (はぎわら かおり)	
現職	昭和音楽大学音楽学部教授	
主な経歴	東京芸術大学音楽学部声楽科卒、オペラ、ミュージカル、コンサート等の舞台に多数出演、奄美観光大使	
専攻分野・研究テーマ	声楽 ミュージカルヴォーカル 発声における科学的考察	
主要業績 (これまで 発表した著 書、論文、 行政委員の 経験等)	<p>【CD】 「1999 SOMEWHERE」「百里香」「歌物語 愛加那」他</p> <p>【オペラ・ミュージカル】 「春琴抄」「フィガロの結婚」「ホフマン物語」「うたよみざる」「オロチ伝」「ビッグ・リバー」 「ルルドの奇跡」「海狐」他</p> <p>【コンサート】 「羽田健太郎おしゃべりコンサート」「三枝成彰クラシカルドリーム」「萩原かおりLIVE かおり's カフェ」「萩原かおりコンサート 愛奏」「萩原かおりと小原孝による松本隆訳詞 美しき水車小屋の娘」他</p>	
神奈川県との 関わり	幼少時代を神奈川県相模原市で過ごしましたが、自治体との関わりは残念ながらまだありません。	
メッセージ	<p>【現在、関心をもっている領域】 日本語による歌唱、ミュージカル等の舞台における発声法と歌唱。 日本のミュージカルの出演者、観客双方の質の向上と発展。アジア各国との連携。</p> <p>【神奈川県との連携に期待すること】 音響的にミュージカルに適した劇場を作り、神奈川県が上質な日本のオリジナルミュージカルの発信地となる事を期待しています。</p>	
連絡先	〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1 昭和音楽大学 電話：044-953-1121 (代) E-mail：k-hagiwara@tosei-showa-music.ac.jp	

神奈川の研究者紹介

氏名	羽石 英里 (はねいし えり)	
現職	昭和音楽大学音楽学部教授 (博士 (学術)) 昭和音楽大学音楽療法研究所 所長	
主な経歴	カンザス大学大学院音楽教育音楽療法科博士課程修了。 昭和音楽大学音楽学部准教授を経て現職。	
専攻分野・研究テーマ	音楽療法学、歌声の科学・発声学 (Vocology)	
主要業績 (これまで 発表した著 書、論文、 行政委員の 経験等)	<p>【著書】 羽石英里：パーキンソン病のための歌による発声リハビリテーション, 春秋社, 東京, 2012. 他。</p> <p>【論文】 羽石英里, 齋藤 毅, 城本 修, ドナ・エリクソン, 岸本宏子, 八尋久仁代：音楽療法士を対象とした発声訓練プログラム：開発に向けた予備的研究. 音声言語医学, 54(3) : 186 - 196, 2013. 他。</p> <p>【学会発表】 Haneishi E, Kawahara H, Hagiwara K, Oribe R, Takemoto H, Honda K : A preliminary study of diaphragm motions and vocal tract configurations during singing: Analyses of real-time MRI and acoustic data. In proceedings of the 11th Pan-European Voice Conference (Pevoc 11), Florence, Italy, p.120, 2015.他。</p> <p>【委員・役員歴】 日本音楽療法学会評議員、日本音楽療法学会関東支部幹事、Journal of Music and Human Behavior (韓国音楽療法教育学会誌) 査読委員</p>	
神奈川県との 関わり	<p>高齢者入所施設音楽療法実施事業 (平成26年度、神奈川県理学療法士会に協力し、昭和音楽大学音楽療法研究所が共同研究を実施)</p> <p>音楽のまち・かわさき推進委員会事業 シンポジウム「音楽療法とコミュニケーション」講師 (平成18年度)</p>	
メッセージ	<p>【現在、関心をもっている領域】 パーキンソン病等神経疾患による音声・言語の障害に対する歌唱の効果。加齢および慢性疾患による心身の障害に歌唱が及ぼす影響。歌唱技術の客観的な解明とその応用。</p> <p>【神奈川県との連携に期待すること】 県の医療機関、医療・福祉系大学、医療・福祉専門家団体等との協働による音楽療法研究事業の実施</p>	
連絡先	<p>〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1 昭和音楽大学音楽学部 電話：044-953-1121 (大学代表) E-mail : haneishi@tosei-showa-music.ac.jp</p>	